

東京れんめい

第
50
号

編集・発行／東京都看護連盟 発行責任者／伊藤由美子
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前一丁目10番34号 原宿コーポ別館511号室
電話:03-3796-0270 FAX:03-3796-0271 E-mail:office.tokyo@kango-renmei.gr.jp

～50th Anniversary～「50」は1～49号までの表紙で構成



届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ

日頃より、東京都看護連盟活動へのご理解とご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私は、7月より東京都看護連盟会長に就任いたしました伊藤由美子です。

微力ではございますが専心努力いたす所存です。前任者同様よろしくお願い致します。

昨年度末まで医療現場においていた私は、東京都看護連盟は現場の声を収集し、コロナ禍の現場の困窮への対応等を積極的に実行し、

東京都看護連盟の会員の皆様には、東京都看護協会の事業にご理解とご支援を賜り感謝を申し上げます。

新型コロナウィルス感染症は5類に移行いたしましたが、皆様の現場での引き続きのご対応に心より御礼を申し上げます。

当協会では6月22日の総会により改選役員の選出があり、新しい役員



東京都看護協会
会長 柳橋 礼子

日頃より、東京都看護連盟活動へのご理解とご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私は、7月より東京都看護連盟会長に就任いたしました伊藤由美子です。

微力ではございますが専心努力いたす所存です。前任者同様よろしくお願い致します。

昨年度末まで医療現場においていた私は、東京都看護連盟は現場の声を収集し、コロナ禍の現場の困窮への対応等を積極的に実行し、

日頃より、東京都看護連盟活動へのご理解とご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私は、7月より東京都看護連盟会長に就任いたしました伊藤由美子です。

微力ではございますが専心努力いたす所存です。前任者同様よろしくお願い致します。

昨年度末まで医療現場においていた私は、東京都看護連盟は現場の声を収集し、コロナ禍の現場の困窮への対応等を積極的に実行し、



東京都看護連盟
会長 伊藤 由美子

を迎える事業をスタートいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は国の基本方針に即し東京都が医療提供体制の確保を図るため、第8次保健医療計画を改定いたします。地域医療構想や5疾病5事業だけでなく、医療従事者の確保に関することが含まれます。引き続き、伊藤由美子会長はじめ、連盟会員の皆様と連携しながら、すべての領域の看護職の待遇改善と勤務環境改善にむけて、それぞれの役割を果たせるよう共に努力をしてまいります。

今後とも一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

連盟の活動が大変わかりやすくなつたと感じております。同時に、看護協会と連盟のタイアップも見える化に繋がって参りました。更に、看護連盟活動をご理解いただき組織力強化にむけて会員数獲得に努力をしていくことが課題と考えます。会員の皆さんにご意見をいただき、連盟のスローガンである「届けよう看護の声を！」私たちの未来へ」の具現化に皆さんと力を合わせてつなげていきたいと存じます。

看護連盟は、看護協会の政策提言活動を実現させるために、政策決定の場である国政・地方議会に看護の代表者を送り、政策決定の場で伸展させることが使命です。今後とも、より多くの看護職者の参画をお願い申し上げます。



日本看護連盟顧問 清水 嘉与子

日本看護連盟創設以来の会員歴も65年を超えました。この間参議院議員として皆様のご支援をいただき、退任後も連盟会長や顧問として連盟活動に参加中です。そして日々日本の看護界の発展を実感しています。看護教育制度や労働条件の改善など看護政策を大きく変えた政治や行政の力、日本看護協会の力も大きかったですね。特に政治力を高めるために組織された看護連盟の力は着実に成果を上げてきました。しかし残念なことに昨今連盟会員が減少しています。特に東京がひどい状況です。少子化を克服し豊かな長寿社会を支えるために看護の力に期待が集まっています。看護職がもっと実力を發揮できる環境を求めて自ら行動するのが真の専門職ではありませんか。次回の参議院選候補者も石田昌宏議員にきまりました。先の統一地方選ではたくさんの看護職が挑戦。東京でも木村弥生江東区長が誕生しました。今こそ看護職の政治参加意識を高める時です。共に頑張りましょう!!



衆議院議員 あべ 俊子

「声を出せない子どもたちへの支援」

いつもご支援、ご指導賜りまして、誠にありがとうございます。

先日の衆議院内閣委員会にて、孤独・孤立に関する現状課題について質問いたしました。『望まない孤独』

は、大人だけではなく、子ども達にも深刻な問題です。各校へのスクールカウンセラーの配置が進んでいるにも関わらず、子どもの自殺数は増えています。保護者、先生、スクールカウンセラーと、大人たちが近くにいながら、助けてと言い出せない子ども達がいます。電話での悩み相談という旧来の手法ではなく、SNSを活用したアウトリーチ型の支援と、その先にある対面・オフラインでの支援が求められています。デジタルとアナログによる両輪で、子どもを救っていかなくてはなりません。

これまで、孤独・孤立問題は内閣府が所管、自殺予防への対応は厚労省と、所管が分かれていきました。子ども家庭庁が設置された今、縦割りの壁を越えて、子どもの安心・安全・安寧の第一優先を、政府に強く要求しました。



衆議院議員 たかがい恵美子

盛夏の候、東京都看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらず後進の育成や看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。たかがい恵美子も皆様の温かい励ましの下、衆議院では厚生労働委員会、東日本大震災復興特別委員会に籍を頂戴しております。また党政調では引き続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長、女性の生涯の健康プロジェクトチームの座長を務め、先の国会では理解増進法を成立させていただきました。

来年度から始まる第三次健康日本21では、女性の生涯の健康が戦略の新たな柱となり、女性活躍・男女共同参画の重点方針2023等には、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が項立てされています。

年末には診療報酬と介護報酬の同時改定作業が本格化しますので、技術に見合う報酬評価とライフコースに沿った働き方改革のため、一層気を引き締めて精進して参ります。



参議院議員 石田 まさひろ

東京都看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の待遇改善を進めねばなりません。今こそ、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等を大幅に引き上げる必要があります。現在、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。

6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職議員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかりと受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。



参議院議員 友納 理緒

平素よりお世話になっております。参議院議員として、約1年が経過しました。年始から始まった第211回通常国会も閉会し、少しほっとしています。開会中は、参議院の委員会、党の会議など様々な場で、看護職の待遇改善、専門性の発揮、訪問看護への支援などについて訴えて参りました。「訪問看護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方向性を示す骨太の方針2023に記載がされ、今後の展開が期待されます。

閉会中も参議院の閉会中審査や自民党の会議がありますので、医療・看護に係わるものを中心にお出席し意見を述べるとともに、これまで皆さまからうかがった様々な課題の解決に向けて厚生労働省との協議を行っています。

現場の声を国政に!立法院である国会の一員という自觉を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるよう引き続き取り組んで参ります。今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【歴代東京都看護連盟会長】



初代会長：

櫻井 甲子 1981年（昭和56年）～2008年（平成20年）

「創刊号」に掲載された櫻井甲子会長の挨拶

「2001年（平成13年）は21世紀の幕開け!この良い年に東京都支部が念願の【支部だより】を発行することになり本当に喜ばしく、皆様にご苦労をおかけしながら創刊号を発行できたことに心から感謝します」
今年6月に99歳（白寿）の誕生日を迎え、「東京れんめい50号」の発行を楽しみにしています。



長尾 真澄 2008年（平成20年）～2014年（平成26年）

<会長挨拶より抜粋>

東京都看護連盟は政界に議員をおくるために活動する組織で、看護協会の目的を実現するためです。日本は63年前焦土の中から女性参政権を獲得して、第1回参議院選で看護の代表1号が誕生しました。法律を作る人を育て政界に送り出しましょう。

私達の職場環境は医療の高度化、少子高齢、災害、国民の権利意識の変化等で厳しくなっています。これらの問題に取り組み働き続けられる良い職場環境にするために必要なです。

施設ごと、職場ごとにベッドサイドで話し合い、良い看護を提供して、看護協会の目的実現に取り組んでまいりましょう。



岩井 郁子 2014年（平成26年）～2017年（平成29年）

<会長挨拶より抜粋>

社会的な存在としての看護は政策、法律によって大きく影響を受け、看護の現状を変えるために、私達一人一人がパワーを持つ必要があります。看護政策すなわち数、人員の問題、労働問題の改善、看護の質向上などへの取り組みで、そのための具体的な目標と行動が求められています。連盟活動は楽しいと思えるよう、そして総和以上の力が発揮出来る東京都看護連盟の発展をめざし、心をつくし皆様とともに歩んでいく所存です。



高原 静子 2017年（平成29年）～2023年（令和5年）1月

新型コロナウイルス感染症の患者数が緩やかに増加している状況下で、様々な場所で感染症に対応して頂いている会員の皆様に心から感謝と敬意を表します。

3年余りのコロナ禍で医療・看護提供体制に係る様々な課題が顕在化し、看護職の存在の重要性が認識されました。しかし、看護の果たす役割や機能が理解されたわけではありません。看護が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、持続可能で質の高い医療・看護提供体制を構築していくことが必要です。

また、政策を決定する国会や地方議会の場で看護の声や意見を代弁することができる人材を国会に送り出すことが重要です。「現場の声」を届ける私たち看護連盟の組織の声こそが、政治を動かす原動力となります。看護政策の実現のため、ともに力を合わせ進んでまいりましょう。



「東京れんめい」の歩み

2001年(平成13年) 10月 「看護連盟東京都支部だより」創刊号発行
第19回参議院選挙 清水かよこ当選

2002年(平成14年) 東京都看護連盟事務所移転
原宿コープ別館5階(508号)
4月 「看護連盟東京都支部だより」第2号
11月 「看護連盟東京都支部だより」第3号

2003年(平成15年) 5月 「看護連盟東京都支部だより」第4号
10月 「看護連盟東京都支部だより」第5号

2004年(平成16年) 1月 「看護連盟東京都支部だより」第6号
7月 「看護連盟東京都支部だより」第7号
第20回参議院選挙 のおの知恵子 当選
11月 「看護連盟東京都支部だより」第8号
のおの知恵子参議院議員 法務大臣に就任

2005年(平成17年) 都道府県支部長を都道府県会長に改称
櫻井 甲子 東京都看護連盟会長となる
5月 「看護連盟東京都支部だより」第9号
11月 「看護連盟東京都支部だより」から
「東京れんめい」へ名称変更 第10号
第44回衆議院総選挙 あべ俊子 初当選



2006年(平成18年) 5月 「東京れんめい」第11号
東京の新名所「表参道ヒルズ」誕生
11月 「東京れんめい」第12号



2007年(平成19年) 5月 「東京れんめい」第13号
12月 「東京れんめい」第14号
第21回参議院選挙 松原 まなみ 落選
清水かよこ参議院議員退任、旭日大綬章受章



2008年(平成20年) 5月 「東京れんめい」第15号
9月 「東京れんめい」第16号
東京都看護連盟会長 長尾 真澄 就任

2009年(平成21年) 2月 「東京れんめい」第17号
東京都看護連盟ホームページ開設
5月 「東京れんめい」第18号
10月 「東京れんめい」第19号
第45回衆議院総選挙 あべ俊子 当選



2010年(平成22年) 2月 「東京れんめい」第20号
5月 「東京れんめい」第21号
9月 「東京れんめい」第22号
第22回参議院選挙 たかがい恵美子 初当選

2011年(平成23年) 2月 「東京れんめい」第23号
のおの知恵子元参議院議員旭日大綬章受賞
8月 「東京れんめい」第24号
事務所を原宿コープ別館511号室に移転

- 2012年(平成24年) 2月 「東京れんめい」第25号
「東京都看護連盟50年の歩み」記念誌を発行
6月 「東京れんめい」第26号
東京の新名所となる「東京スカイツリー」完成
10月 「東京れんめい」第27号
- 2013年(平成25年) 2月 「東京れんめい」第28号
第46回衆議院総選挙 あべ 俊子 当選
9月 「東京れんめい」第29号
第23回参議院選挙 石田まさひろ 初当選
- 2014年(平成26年) 1月 「東京れんめい」第30号
8月 「東京れんめい」第31号
東京都看護連盟会長 岩井 郁子 就任
- 2015年(平成27年) 1月 「東京れんめい」第32号
第47回衆議院総選挙 あべ 俊子 当選
8月 「東京れんめい」第33号
- 2016年(平成28年) 1月 「東京れんめい」第34号
8月 「東京れんめい」第35号
第24回参議院選挙 たかがい恵美子 当選
- 2017年(平成29年) 1月 「東京れんめい」第36号
7月 「東京れんめい」第37号
東京都看護連盟会長 高原 静子 就任
- 2018年(平成30年) 1月 「東京れんめい」第38号
7月 第48回衆議院総選挙 あべ 俊子 当選
11月 「東京れんめい」第39号
「東京れんめい」第40号
- 2019年(令和元年) 2月 「東京れんめい」第41号
8月 「東京れんめい」第42号
第25回参議院選挙 石田まさひろ 当選
- 2020年(令和2年) 2月 「東京れんめい」第43号
天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典(2019年11月)掲載
8月 「東京れんめい」第44号
原宿駅が新しく生まれ変わった
新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言発令
- 2021年(令和3年) 2月 「東京れんめい」第45号
8月 「東京れんめい」第46号
2020+1 東京オリンピック開催
- 2022年(令和4年) 2月 「東京れんめい」第47号
第49回衆議院総選挙で あべ俊子、たかがい恵美子 当選
8月 「東京れんめい」第48号
第26回参議院選挙 とものう りお 初当選
- 2023年(令和5年) 1月 「東京れんめい」第49号
7月 東京都看護連盟会長 伊藤 由美子 就任



【リーダー連絡員会】

日 時:2023年5月20日(土) 14:00~ 16:00

場 所:東京消防庁スクール麹町

参加者:52名

(役員・支部長・支部幹事長・施設連絡員・青年部委員)

内 容:連盟の役割とリーダーシップについて

各支部に分かれて話し合い

(会員増加、地区活動の活性化について)



会員増加に向けて積極的な意見交換が行われました!!

【日本看護連盟通常総会】

日 時:2023年6月13日(火) 13:00~ 15:00

場 所:ザ・プリンスパークタワー東京

参加者:東京都看護連盟(代議員9名)



※第27回参議院選挙組織内候補者に石田まさひろ参議院議員が決定

【東京都看護連盟通常総会】

日 時:2023年6月17日(土) 14:00~ 16:00

場 所:東京消防庁スクール麹町

参加者:80名(役員、名誉会員・会員)

委任状 1917名

特別講演:テーマ 2040年に向けて東京の未来を読み解く

講 師 参議院議員 朝日けんたろう氏



【新役員紹介】

会長：伊藤 由美子
 第二副会長：細川 香代子
 幹事(看護協会担当)：横山 孝子
 西部地区理事：荻島 理恵子
 監事：森山 律子

<新支部長>

南部地区B支部長：吉井 啓子
 南部地区C支部長：菅野 真紀



【2023年委員会活動】

<教育委員会> 2023年度研修計画

- ①10月7日（土） テーマ：急変時のアセスメント（基礎・応用編）
講 師：東京女子医科大学病院 急性・重症患者看護専門看護師 山崎 千草先生
- ②11月4日（土） テーマ：急変の予測と看護（症例を通して学ぼう）
講 師：東邦大学医療センター大橋病院 集中ケア認定看護師 須郷 恵美先生
- ③2024年
1月13日（土） テーマ：せん妄患者の看護（看護の力で防ぐ適切な関わり方）
講 師：順天堂東京江東高齢者医療センター 老人看護専門看護師 佐藤 典子先生
- ④2月10日（土） テーマ：基礎から学ぶ臨床推論（循環器編）
講 師：東邦大学医療センター大橋病院 特定行為看護師 根井 あすさ先生

<詳細はホームページ参照>



<青年部委員会>

東京都看護連盟会員の20代、30代、40代の働き盛り世代が2ヶ月に1度集まり、看護と看護の未来について自分達に出来る事は何かを考えながら活動しています。ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受け、思うように活動ができませんでした。この期間、それぞれの医療現場で未知への不安と闘いながらも看護師として果たすべき役割や職務に努めてきました。今こそ、看護職の仲間の声、現場の声を青年部一丸となって届けていく時だと感じています。私達の世代が看護専門職者として自分自身を守り、そして何よりも患者や国民の命や健康を守る為、「声を届けること」を恐れず、諦めずに続けていきたいと考えています。一緒

に活動できる仲間をもっともっと増やしたい！2023年度は青年部の基盤作りの強化と若手会員の確保対策の為の活動を充実させていきます。看護職の諸先輩方がこれまで築き上げて下さった看護の歴史を礎に進化していく青年部に乞うご期待！！

<広報委員会>

機関誌「東京れんめい」の発行（年2回）、東京都看護連盟のホームページの更新を行い広報活動を行っています。

今回、50号の記念誌を発行する事ができました。
 *皆様のご意見を日本看護連盟ホームページ
 「現場の声を聞かせて下さい」に投稿して下さい。

入会のお説明

私たちが目指すのは、人々が健康で明るく暮らせるような社会を作ることです。

そのために労働条件の改善をはかり看護教育の水準を高めるなどの体制づくりが必要です。

[申込方法]

規定の用紙に記入の上、
東京都看護連盟宛に送付して下さい

電話: 03-3796-0270

メールアドレス: office.tokyo@kango-renmei.gr.jp

[会費]

日本看護連盟	5,000円
東京都看護連盟	5,000円
合計	10,000円

賛助会員



年会費 2,000円

学生会員



会費無料

公式サイト



従来の内容を踏襲しつつ、レイアウト等の見直しを行いました。
 是非、ご覧いただきたいと思います。
 左のQRコードからスマートでご覧ください。
<https://www.tokyo-kangorenmei.jp/>

2023年度 活動計画

重点方針

1.見える活動 2.行動する会員 3.確かな組織づくり

項目	目 標	活 動
政治力・政策実現力の強化	1.看護職国會議員の選出・支援	<p>1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補者決定に協力する。</p> <p>(1) 日本看護連盟と連携し、第27回参議院議員選挙で看護組織代表候補者を高得票で当選するために会員確保を推進する。</p> <p>(2) 第26回参議院議員選挙総括で抽出された課題の改善策を明確にし地区・支部に周知する。</p> <p>(3) 地区・支部活動を通じ全会員の投票活動に繋がる活動をする。</p> <p>(4) 非会員・支援団体・各級議員の協力を得、活動を拡大する。</p>
	2) 看護職国會議員の支援	<p>(1) 看護職国會議員の知名度向上及び活動状況を周知するために広報媒体等を積極的に活用する。</p> <p>(2) 4人の国会議員の活動報告をHP・機関誌に掲載し、活動状況を周知する。</p>
	3) 公職選挙法の遵守	<p>(1) 「参議院選挙実践の手引き」を活用し、コンプライアンスに基づいた安全な活動を実施する。</p> <p>(2) 政治活動・選挙活動研修等を開催し、主体的に政治活動・選挙運動ができるよう支援する。</p>
	2.看護政策の実現	<p>1) 医療・看護現場の声の把握と改善へ向けた対応</p> <p>(1) 施設訪問・研修会等で「現場の声」を把握し、要望等に繋げる。</p> <p>(2) 必要時、施設看護責任者と情報交換をする。</p> <p>(3) 政策提言内容や制度改革に反映された成果をタイムリーに会員に広報する。</p> <p>(4) 各地区支部と連携し、新型コロナウイルス等の感染対策に関する現状把握並びに課題を関係機関・関係国会議員と情報共有する。</p>
3.看護を理解する国会議員の確保と支援	2) 政策実現力の強化	<p>(1) 東京都選出の各級議員の政策説明会等に参加、連携を図る。</p> <p>(2) 医療系・介護系団体との連携を図る。</p>
	3) 政策実現に向け日本看護連盟・東京都看護協会等との連携	<p>(1) 看護協会・訪問看護ステーション協会・助産師会等と協働し、要望書を作成、行政・各級議員等へ提出する。</p>
	1) 東京都選出の国会議員との連携強化	<p>(1) 看護政策の実現に向けて、都選出の国会議員との連携を図る。</p> <p>(2) 看護職以外の国会議員の活動状況を把握、支援する。</p>
4.都・市町村議会行政への影響力の強化	1) 東京都における看護連等の設置と活動の促進	<p>(1) 各級議員との交流の場を設け、看護連盟に対する理解を深める。</p> <p>(2) 都・区市町村議会議員の活動を支援する。</p>
	2) 行政等との情報交流を確立する。	<p>(1) 行政の看護政策に関する情報収集をし、政策実現のための働きかけをする。</p> <p>(2) 都・区市町村議会行政等へ要望書を提出する。</p>
組織力の強化・拡大	1.会員の確保対策	<p>1) 看護協会会員数の7%を目指す(3000人超)。</p> <p>(1) 未加入施設への訪問等による働きかけをする。</p> <p>(2) 連盟の必要性をあらゆる場を用い広報する。</p> <p>(3) 東京都看護協会役員の連盟加入者数を70%にする。</p> <p>(4) 医療施設以外の施設で働く看護職員への入会を働きかける。</p>
	2) 若年層、学生会員の確保	<p>(1) 看護基礎教育の内容に「看護政策」の講義を取り入れるよう働きかける。</p>

項目	目 標	活 動
組織力の強化・拡大		(2) 役員・支部長等が講演や講義を担当する際、看護政策や看護連盟について必要な情報提供をする。 3) 賛助会員の入会促進 (1) 企業への賛助会員加入を働き掛ける。
	2. 看護連盟・看護協会との連携・協働	1) 東京都看護協会との連携強化 (1) 月1回情報交換会を持ち、情報の共有を図る。 (2) ブロック協議会等で連盟・協会長合同会議を開催、連携・協働の在り方を考える。 (3) 共同で研修等を開催する(年1回)。
	3. 広報活動の強化および周知徹底	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 (1) 機関誌「東京れんめい」発行により、情報提供の継続・充実を図る。 (2) HP、インターネット等を活用し、タイムリーな情報提供を継続する。 (3) 議員の活動報告・トピックスを広報する。 2) 選挙活動に有効な広報ツールの構築 (1) インターネット選挙に向けての方策を学び共有する。 (2) 効果的なSNSの活用について学び活用する。
	4. 組織の充実強化	1) 日本看護連盟との情報の共有化 (1) 日本看護連盟役員会・委員会情報を東京都看護連盟役員・支部長・施設連絡員と共有する。 (2) あらゆる機会を活用し、地域の特性を生かした会員確保・活動戦略を検討する。 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進 (1) 看護管理者研修会を年2回開催する。 (2) 未入会者及び会員に対し連盟活動の理解を深め、各級選挙に積極的な参加を促す研修のあり方を検討する。 (3) 感染対策を考慮し、効果的・効率的な会議・研修を企画する。 (4) 安定的に研修会や会議を行うためにオンラインを活用する。
	5. 効率的な組織運営	1) 東京都看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 (1) コンプライアンスに基づく組織運営を行い、効果的・効率的な運営とする。 (2) 組織運営のための規約・細則・申し合わせ事項を適宜見直し、効果的・効率的な運営ができるようにする。 2) 財政等の健全化と適正化 (1) 費用対効果を見極め、活動の活性化を図る。
	6. 地区・支部組織の強化	1) 地区・支部の強化 (1) 地区・支部毎の積極的な活動促進のため、役員はオブザーバーとして参加する。 (2) 地区・支部は、各級議員を交えたミニ研修会を実施する。
	7. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 (1) 青年部委員会の定期的開催を支援する。 (2) 青年部ブロックミーティングへの参加を促進する。 (3) 連盟活動・看護政策等の知識を養うため、ブロック別政策セミナー、都道府県別会議等に積極的参加を促す。
会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援 (1) 災害時の情報を発信する。 (2) 災害見舞、支援金等の支援をする。
	2. 福利厚生への対応	1) 東京都看護連盟内規に基づく対応 (1) 名誉会員・叙勲当受賞者への対応を行う。 (2) 物故者・慶弔等への対応をする。
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証 (1) コンプライアンスに基づく政治活動、選挙活動のための情報交換を行う。 (2) 諸般の疑問・問題には、専門家と相談し、速やかに解決する。



【いろいろな方面で活躍している看護師の紹介】

病院や診療所など従来の働き方だけでなく、様々な社会のニーズに合わせて働く看護師が増えてきています。新たな分野で活躍する看護師に仕事や動機、今後の展望などを聞いてみました。

<株式会社ハレ かなえるナース>



代表取締役／看護師／保健師 前田 和哉
主に終末期の患者さまを対象に、看護師による付き添いサポートを提供しています。病院から自宅への外泊から、

お子さんの結婚式などの大切なイベントへの出席、温泉旅行の付き添いなど、多岐にわたって夢を叶えるサポートを行っています。北海道から沖縄まで、飛行機や新幹線を使っての移動も珍しくありません。

まだ交際している時期に妻の母が末期がんになり、生きているうちに娘の晴れ姿を見せてあげたいと思いました。義母を介護しながら写真館へ行き、一緒に結婚写真を撮影した喜びがずっと心に残っていたのが起業した動機です。

自宅や病院の外で看護師が活躍する、患者さんの夢を叶える、といった働きかたはまだ一般的ではありません。全国で困っている患者さんのためにも、こうした仕事をもっと普及させられたらいいなと思います。



<ローズ訪問看護ステーション>



責任者／看護師 土井 昭子
東京都港区三田にある訪問看護ステーションで今年の3月に開設しました。

「自宅で安心して生活したい」その想いを24時間365日支えます。病状や療養生活を専門家の目で見守り、的確なケアとアドバイスで在宅療養生活をお手伝いします。また、ご要望に応じて自費でのサービスも取り入れています。財団の外来看護師からスタートし、病院で訪問診療の立ち上げに関わったのがきっかけでした。こちらの声掛け次第で表情が明るくなったり安心される方も多く、一人ひとりに向き合うケアの重要性を実感しました。退院後の患者様の経過や通院困難での自宅療

養状況を考える機会が増えさらに興味を持ちました。利用者様のご自宅で長期間にわたり見守る訪問看護は、地域包括ケアの中心的な役割になると感じています。ご利用者様の中には高齢者も多く寡黙な方や話好きな方、心配性の方などケースバイケースの対応、ご家族の介護負担を考慮した看護を目指したいと思っています。また在宅での看取りを選択したご利用者様やご家族に安心して日常生活が送れるよう、寄り添ったケア・サポートを日中・夜間問わず駆けつけ、ご利用者様やご家族の頼れる存在になりたいと思っています。

「敬愛」の言葉を大切にこれからもお一人お一人とじっくり向き合った看護をしていきます！



<ケアプロ株式会社>



代表取締役社長／看護師／保健師 川添 高志

最近、看護師が同乗する民間救急を開始しました。人工呼吸器やシリンジポンプ等も装備しているので、呼吸管理が必要な患者さんの転院やがん

末期の患者さんの退院をサポートしています。医療的ケア児や難病患者、がん患者など幅広い患者さんの訪問看護をする中で、一人で外出や移動が出来ない方を多く見てきました。そして、介護タクシーや民間救急と連携する中で人工呼吸器などの管理が必要な場面に遭遇し、看護師ならではの民間救急の仕事を始めました。

令和3年4月1日の時点で全国に2,074台の患者等搬送認定車両があります。高齢化社会や救急車の適正利用の中で、民間救急ニーズは高まります。病院と地域をつなぐ架け橋となれるように「交通医療」という新しい看護システムを広げていけたらと思います。

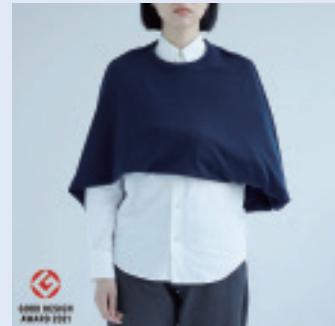


<株式会社ケアウイル>

リサーチディレクター／看護師／保健師 坪田 康佑
看護イノベーションに携わり、デジタルヘルスの支援、訪問看護のM&A、男性看護師の活動推進、そして産業看護職の育成といった看護師の視点を活かした活動に取り組んでいます。2021年には、ケア医療ブランドのケアウイルと協力してアームスリングケープ（三角巾）を開発し、その結果グッドデザイン賞を受賞するという成果を上げました。

私が看護職を志したのは、ナイチンゲールのようなイノベーションに憧れたからです。ナイチンゲールが看護師の視点で円グラフや病棟を開発したように、私も看護師の視点から何かを創出し人々を支えたいと考えています。メイヨクリニックのように診療報酬以外の知的財産から収入を得る病院が存在する未来を目

指しています。現在の日本では診療報酬による収入増加が難しいため、そのような道が重要な時代が来ると思っています。その一歩として個人レベルで看護師の視点を活用した事例を作り出すことに挑戦しています。



<医療法人社団雪焰会トイトイクリニック>

看護師 八木橋 麻美

美容クリニックでアートメイク看護師として勤務しています。アートメイクとは皮膚のごく浅い層に細い針で色を入れる医療行為です。現在、眉・アイライン・リップ・ヘアラインにアートメイクを施す行為をしています。アートメイクの対象者は一般の方から脱毛症、口唇裂傷、乳がんによる乳房切除術後の患者等パラメディカルピーリングメンテーションを必要とする方々まで多岐にわたります。

病棟看護師として勤務していた際は「整容のニードを満たす」ということをとても大切にしていました。整容行為一つで生きる活力につながる事をたくさん実感していました。

病棟経験を生かすセカンドキャリアの形成を考えていた際に身内が脱毛症になり、アートメイクの存在を知りました。アートメイクは看護師が行うことのできる医療行為と分かり、セカンドキャリアとして選択しました。

海外ではアートメイクによる乳輪乳頭再建は一般的なものであるのに対して、日本での認知度が低いため施術件数が少ない現実です。現在、乳輪乳頭アートメイクの技術者育成、認知度向上を目的とした活動をされているunfe代表の築地先生とともにこの技術を広める活動を開始しています。技術のすばらしさを伝え施術の機会を増やしていきたいと考えています。私は病棟からクリニックにキャリアチェンジをしましたが、看護の魅力や新たな可能性の広がり続けていくことを実感しています。看護職を通して出来た仲間や経験が力となり、チャレンジする力となっています。



<ヘルスケアテクノロジーズ株式会社 ヘルスケアコンサルティング部>

看護師／保健師 蒲谷 花代

心身の不調やちょっと気になることを、24時間365日いつでも医師・看護師・薬剤師にチャットで相談ができるヘルスケアアプリ「HELPO (ヘルポ)」で

ユーザーの皆様からいただいた相談にお応えしています。体調不良時の対処や受診の目安、健康診断の結果、育児、介護、精神的な不調などの不安や疑問に日々寄り添っています。

自分の健康が後回しになる現役世代の健康維持のためには、病院に行く前のいわゆる未病の段階から関わることが必要だと考え、そこにアプローチできるオンラインヘルスケアに興味を持ち志望しました。

受診の前段階で関わることが出来るため、不要な受診を減らし医療費削減や医療機関の負担軽減が期待できます。また、リアルタイムの生活指導は外来受診の合間の支援となるので慢性疾患のコントロールにも役立っています。いつでも気軽に相談できることで健康意識の向上になり、自治体や医療機関がカバーしきれない24時間体制のサポートは人々の新しい生活スタイルになると感じています。

医療機関とは別のところから現場の負担軽減に貢献していきます。国民も看護師も元気に仕事や生活が送れるよう常に新しい挑戦していきたいです。



看護の代表議員に直接聞いてみよう!

皆様の声を看護の代表議員に届けたいと思います。

現場の声や質問をお聞かせてください。

各施設の連盟担当（支部長、施設連絡員）に伝えるか、日本看護連盟ホームページの「現場の声を聞かせてください」に投稿して下さい。

（看護の代表議員）



あべ俊子衆議院議員



たかがい恵美子衆議院議員



石田まさひろ参議院議員



とものうりお参議院議員

【東京れんめい50号の発行に寄せて】



元広報委員会相談役
前田 ユキ

「東京れんめい」50号の発行おめでとうございます。

私は機関誌『東京れんめい』の創刊号から退職した33号まで作成に関わらせていただきました。機関誌の目的は会員の皆様に活動内容をお知らせすることにあります。

機関誌の性格上、政治色の強い内容になってしまいますが、会員の皆様にいかにして読んで頂けるか色々工夫しながら取り組んできました。

まず広報委員会で企画をします。発行月日、ページ数、編集内容の検討などを決定し、会長の承諾を得ます。次に原稿依頼、掲載写真の選定、原稿の校正や割り付け等を行い印刷の依頼をします。

ゲラが上がったら校正を3, 4回して、会長の承認を得て印刷、発行になります。

この間約2ヶ月ほどかかります。他県からも地方色を出した機関誌が送られてきます。参考にしながら切磋琢磨したものです。たった8ページの小冊子ではありますが、50号まで続けられました広報委員の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

【編集後記】

平成13年10月 東京都看護連盟会報誌第1号を発刊してから今回で50号、第1号から編集に関わってきた私は感慨深いものがあります。連盟事務所に他県から送られてきた会報誌が置いてあり、それを読んでいた私達（駒木根さん、山崎さん、三島）に皆さん・前田さんから「東京も出したいのよ、あなた達、作ってみたら」と声をかけられたのが始まりでした。

ちょうど清水嘉与子先生の選挙の年で張り切って作り、第1号を手に取った時の達成感を今でも覚えています。

連盟会報誌の使命は、看護の礎を築いた先人たちの汗と涙と努力と愛で勝ち得た権利を皆様に知って頂き、後輩たちが受け継いでいけるよう、看護連盟の活動を皆様に発信していく事だと思っております。

会報誌に関わってくださったすべての皆様に感謝しております。 三島くみ子



<広報委員会>

委員長 吉井 啓子
委員 三島くみ子
委員 成澤知華穂
委員 星野 由美
相談役 石塚 綾子

特許取得済

ホームページをリニューアルしました

<https://www.t-shinkou.co.jp/>

*ネット注文（クレジットカード使用可）7月中 開始予定

看護・介護の負担を軽減する、シワにならない医療用ボックスシーツ「ぴったりシーツ」を、多くの方に知っていただきたく、動画やコンテンツを追加しました。（一般ヘッドサイズも各種ご用意しています）

全国の在宅医療の分野にも、どんどん広がっています！



オンラインでの商品説明（Skype・ZOOM・LINE・FaceTime等）も実施しております



日本訪問看護財団 法人会員
株式会社 信公

〒341-0054 埼玉県三郷市泉3-3-17
TEL : 048-953-3100 FAX : 048-953-1405
Mail : pittari@t-shinkou.co.jp

